

今号の
テーマ

President of the European Council
欧州理事会議長

Q 欧州理事会議長というのは新しい職なのですか？

A これまで欧州理事会（EU首脳会議）の議長（President）は、6カ月ごとに交代する議長国の首脳が務めていました。しかし、昨年12月に発効した「欧州連合条約および欧州共同体設立条約を改正する条約（リスボン条約）」により、欧州理事会に新たに常任の議長（任期は2年半、一度に限り再任可）が誕生しました。この新議長には、欧州理事会の仕事にさらなる継続性と安定をもたらすことが期待されています。

欧州理事会が初代の常任議長に選んだのは、前ベルギー首相のヘルマン・ヴァン・ロンプイ氏（62）です。経済学者でもあり、長く政治家として活動している氏は、フランス語圏とオランダ語圏の対立による緊張の中、同国に安定をもたらし、その手腕は高く評価されています。この経歴は、議長としての任務を遂行し、欧州理事会運営の継続性と加盟国間の意見の一致を図る上で生かされるでしょう。

リスボン条約によって欧州理事会は欧州連合（EU）の正式な機関となりましたが、これにより新たな権限が加わったわけではありません。欧州理事会はEUの発展に必要な勢いを与え、一般的な政治指針と優先事項を定めませんが、立法府としての役割は備えていません。欧州理事会は国家元首または政府首脳、欧州理事会議長、そして欧州委員会委員長で構成され、少なくとも年に4回（1輪番議長国ごとに最低2回）開かれます。EU外務・安全保障政策上級代表も欧州理事会の任務遂行に参加します。

非公式欧州理事会後の記者会見に臨むヴァン・ロンプイ議長（2010年2月11日、ブリュッセル）

The Council of the European Union

Q 常任議長はどんな役割を担っているのですか？

A 欧州連合条約の第15条6項に、欧州理事会議長の役割が以下のように定められています。

- 欧州理事会の会合で議長を務め、同理事会の職務を円滑に進める
- EU理事会*の一般理事会の活動に基づいて、欧州委員会委員長と協力して欧州理事会会合の準備と継続性を担保する
- 欧州理事会内の結束と意見一致の促進に努める
- 欧州理事会の各会合後に欧州議会に報告書を提出する

これに加え議長は、欧州理事会会合の結果を報告するため、すべての公聴会を統轄します。さらに、EU共通外交・安全保障政策（CFSP）において、政治的最高レベルでEUを対外的に代表します。以上のような議長の職務は、EU理事会の事務総局が補佐します。

Q これまで加盟国が輪番で就いていた議長国制度はどうなるのですか？

A 欧州理事会の議長役は常任議長が取って代わりますが、6カ月ごとに交代するEU理事会の輪番議長



国制度は残ります。また、これまで議長国が担当していた任務のうちいくつかは、常任議長とEU外務・安全保障政策上級代表に引き継がれます。

Q リスボン条約発効後の常任議長、EU外務・安全保障政策上級代表、および議長国の役割分担はどのようになっていますか？

A 常任議長は、加盟国が輪番議長国に就任する少なくとも1年前に当該加盟国と協議の上、当該加盟国議長国期間内に開催される欧州理事会会合の日程を定め、公表しなければなりません。さらに、各欧州理事会会合の最低4週間前に議長国および欧州委員会委員長と協力し、議題案をEU理事会に提出しなければなりません。

対外関係においては、常任議長は域外国との間で行われる首脳会議（サミット）に、欧州委員会委員長、EU外務・安全保障政策上級代表とともに出席します。常任議長は議長国と協力してサミット協議事項を定め、サミット会合後には合意事項を欧州議会に報告します。

EU理事会の各議題別会合の議長役は、輪番制の議長国に任せられています。ただし、外交案件に関してはEU外務・安全保障政策上級代表が責任を担っています。さらにリスボン条約によって、いわゆる「トリオ議長国」システムが正式に導入され、任期が連続する3つの議長国が協力し合う体制が確立しました。これによりEUの輪番議長国制度に、より一貫性があり、かつ効率よく機能する体制が整いました。EU

* 全加盟国の閣僚で構成されるEUの立法機関。会合には議題に応じて担当閣僚が出席する。